

2019

叱るスキル



叱るスキル

基本要素

①受け止める

言い分を聞く(確認)
相手の気持ちになる(共感)
相手を認めている(承認)

②教える

気持ちを伝える(私メッセージ)
相手の行動にフォーカス(限定)
怒ったふり(インパクト)

③考えさせる

決めさせる(納得)
選ばせる(民主主義)
説明させる(コーチング)

相手のタイプ

①年齢

乳児期と老年期－受け止める
幼児期・児童期－教える
思春期・成人期－考えさせる

②性格

過剰適応－その時その場、端的に
不適応－時間と場所、丁寧に
受け身－具体的、理由付け
積極性－抽象的、客観視

フォロー

①叱る前

褒める「貯金」
クッションフレーズ

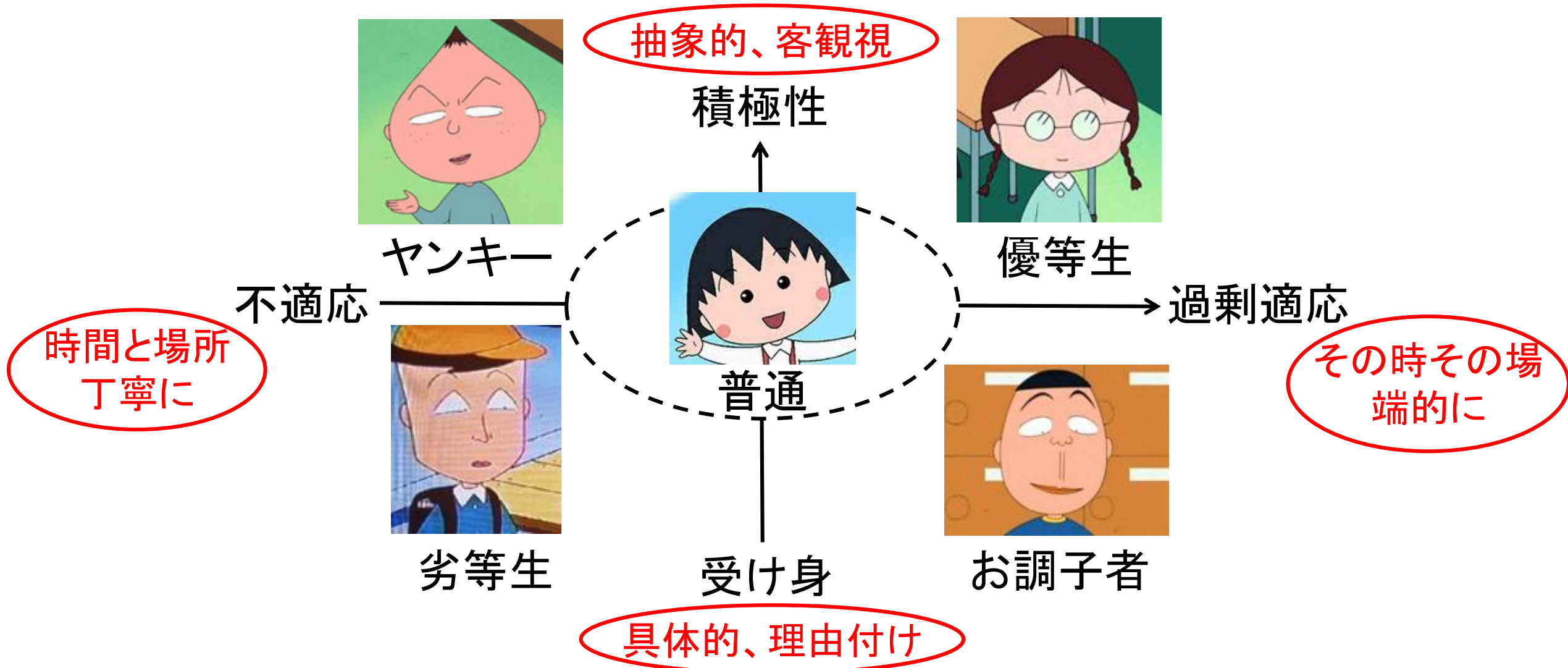
②叱った後

サンドイッチ法
変化への即褒め

③代わりに誰か

フォロー役

誰を叱る？



自尊心 × 自信 → 積極性

自信

褒め叱り(父性)

積極性



ボクならできるけど、
それでもボクはだめだ

独裁国家型



おらならできるし、
できない時もおらは大丈夫

民主国家型

該
当
な
し
キ
ャ
ラ
の

自分ではできないし、
できる時も自分はだめだ

無法地帯型



私はできないけど、
それでも私は大丈夫

ユートピア型

自尊心

見守り(母性)

褒め、叱り、見守りによる 自己評価と学習効果(模式図)

